

○公園・緑地・水辺の整備

公園・緑地・水辺の整備につきましましては、県道平泉停車場中尊寺線の道路整備に併せて県が整備する小公園について、早期に完成するように要望してまいります。

水辺プラザにつきましましては、町民農園などが多くの町民に利用されるように、適切な維持管理に努めてまいります。

○景観の保全・整備

景観の保全・整備につきましましては、豊かな自然と美しい景観を守り、次世代へ継承するため、道路、河川などの環境整備を関係機関ならびに町民の協力を得ながら、引き続き実施してまいります。

また、「平泉の自然と歴史を生かしたまちづくり景観条例」と「平泉町屋外広告物条例」の周知を図り、官民一体となって世界文化遺産のまちにふさわしい景観の保持に努めてまいります。

○商工業の振興

商業の振興につきましましては、平泉商工会などと連携した支援体制の整備により、地域に密着した魅力ある商店づくりを推進す

ると共に、道の駅平泉を活用した販売促進を強化してまいります。

また、産業競争力強化法に基づく「創業支援事業計画」の認定を共同で受けた一関市と合同で創業支援セミナーを開催することによって、個店を開業するための知識やノウハウを学ぶ場を提供すると共に、「中尊寺通り賑わい創出事業」に継続して取り組み、中尊寺通りの活性化を図ってまいります。



多くの人でにぎわう「中尊寺通りホコ天まつり」

空き店舗対策につきましましては、店舗リフォーム促進支援事業補助金および空き店舗対策事業補助金制度の有効活用を促すと共に、創業支援ネットワーク会議を新たに立ち上げ、構成機関によるワンストップ型の相談体制の構築と情報サービスの提供を行い、新規企業の参入を積極的に支援してまいります。

減少対策につきましましては、事業承継および経営力強化セミナーを開催し、若手経営者や後継者などを育成することにより、町内の地域経済の維持拡大を図ってまいります。

工業の振興につきましましては、平泉町中小企業振興資金貸付制度を活用し、中小企業が町内金融機関から低金利での融資を受けられるなど、資金調達の円滑化に向けての支援を継続してまいります。

また、自社製品や技術力を広く情報発信するため各種展示会に出展する際の経費補助を継続すると共に、町内に工場や設備を増設する際の助成についても継続し、既存企業の経営基盤の強化を支援してまいります。

さらに、企業懇談会を開催し、企業の動向やニーズの確かな把握に努めると共に、企業間の情報交換による町内企業の活性化と企業支援や企業誘致などの施策への反映に努めてまいります。

○雇用対策

雇用対策につきましましては、商工会やハローワークなどの関係機関と連携しながら職業相談に対応するほか、ふるさと就職ガイダンスの開催や若者等ふるさと就職支援事業補助金の利用促

進を通じて、若年労働者の地元就職およびUターンなどを促進してまいります。

また、少子高齢化が一段と加速している中で、町シルバー人材センターへの運営費補助などを通じ、地域ニーズに対応した事業の実施と高齢者の適正就業を促してまいります。

○観光の振興

観光客の受け入れ態勢につきましましては、平泉観光案内所や平泉駅なか案内所、道の駅観光ガイダンス施設の充実を図り、岩手の観光ゲートウェイ機能を果たせるよう観光協会や関係機関と連携してまいります。

2次交通の充実につきましましては、東北の空の玄関口である仙台空港との連携を強化し、仙台空港・松島・平泉線の活用を促すと共に、巡回バスやレンタサイクルなどの効果的な運用を通して、町内への回遊を図ってまいります。

また、国の施策を背景として外国人観光客が過去最高の入込数を記録しており、今後ますます増加傾向にあることから、東北観光復興対策交付金を活用し、国や県、関係機関と連携した積極的な誘致活動、受入態勢の整備に努めてまいります。

○教育の振興

教育の振興につきましましては、総合教育会議を開催すると共に、町教育大綱に基づき「一人ひとりが輝き、幸せを実感できるまちの実現」を目指し、「学校」「家庭」「地域」「行政」の連携のもと、子どもたちの多様な個性と能力を伸ばし、社会を担う人材育成と、世代を超えて「平泉の価値」を学ぶ「平泉学」の取り組みを軸に、さらなる教育の推進を図ってまいります。

また、町民が生涯にわたって自主的・自発的に学習活動の継続を目指すことができるように、公民館における各種講座・教室の開設や図書館サービスの充実などに努め、生涯学習情報を発信し学習意欲の向上に努めてまいります。

おわりに――

平成29年度は、町民総参加のまちづくりの実現を推進するた



更新が予定されている消防団装備

交通安全対策につきましましては、警察や交通指導隊、交通安全母の会、交通安全協会などの関係機関と連携を図りながら、年間を通じた交通安全運動をはじめ、日常の街頭指導や交通安全教室などの実施、高齢運転者の増加に伴う事故防止対策など、

交通事故のない安全な町の実現に向けて取り組んでまいります。

災害時における要援護者の支援につきましましては、避難行動要支援者避難支援計画に基づいて、民生委員、行政区など関係機関の理解と協力を得ながら、要援護者の見守り支援と個別支援計画の策定に努めてまいります。

福祉避難所の設置につきましましては、社会福祉法人などの協定を踏まえて、災害時の避難対応に備えてまいります。

情報セキュリティ対策につきましましては、町が保有する情報資産の機密性、完全性および可用性を維持するため、町セキュリティポリシーに基づき、実施してまいります。

住民情報システム(住基、税、福祉)につきましましては、情報システムのコスト削減、情報セキュリティ水準の向上、災害時の業務継続が可能であることなどを目的として、一関市、陸前高田市、住田町、一関地区広域行政組合と当町の5団体で、自治体クラウド協定を締結し、平成30年8月よりサーバーを共同利用する本格運用に向けて対応してまいります。

○世界文化遺産の保存と活用

世界文化遺産に登録されまし



特別史跡無量光院跡の庭園整備

た「平泉の文化遺産」につきましましては、さまざまな行事やイベントの開催、多言語のVR(復元立体映像)やホームページを効果的に活用して、歴史的・文化的価値と魅力を国内外に向け発信してまいります。

また、「平泉世界遺産の日」の記念事業に取り組み、平泉の価値、理念の普及、後世へ引き継ぐ意識の醸成を推進してまいります。

遺跡の調査、整備につきましましては、特別史跡無量光院跡の庭園整備、中尊寺大池伽藍跡の内容確認調査を継続すると共に、新たに観自在王院跡の発掘調査を進め、考古学的遺跡を完全に保護し、計画に基づいて取り組んでまいります。

世界遺産拡張登録につきましましては、岩手県、一関市、奥州市と協力して、柳之御所遺跡および達谷窟などの関連資産の調査研究を推進し、機運醸成に取り組



国際交流員による各店舗への英語指導

併せて商工会と連携した消費税免税店や海外カード決済環境を整えると共に、国際交流員を活用し、各店舗や観光施設における外国人観光客の受け入れ相談に応じる体制の構築や、多言語での情報発信などを強化してまいります。

さらに、当町と一関市において継続的に協議を進めてきた観光地経営の視点に立った観光地域づくりの舵取りの役割を果たす「世界遺産平泉・一関DMO」の発足による広域連携事業について支援すると共に、地域内の取り組み体制強化や、新たな事業実施体制の構築についても、連携しながら取り組んでまいります。

○国際リニアコライダーの誘致

国際リニアコライダーの誘致につきましましては、関係機関と連携を図りながら情報収集・意見

めに、重点事業、社会教育施設の整備方針、町を目指すべき姿について、全21行政区を回っての地域懇談会を開催いたしました。重点事業としましては、道の駅平泉の現状と課題、少子定住化対策、平泉スマートインターチェンジについて、社会教育施設の整備方針としましては、公民館と図書館を合築し民間の活力により優先的に建築することについて、町を目指すべき姿としましては、町民も観光客も公共交通で周遊するまちづくりについて、それぞれ説明をさせていただいたところです。

説明内容以外にも町政に関する多くのご意見・ご提言などをいただきましたが、これらこそが明日の平泉を創るものだと思信しておりますので、今後もご忌憚なくお寄せください。

今回、提案いたしました平成30年度平泉町一般会計予算特別会計予算・企業会計予算ならびにその他の議案につきまして、議員各位のご理解とご協力、そして町民の皆さま方の町政への参画を心からお願ひ申し上げます。私の施政方針の表明といたします。

平成30年3月5日

平泉町長 青木 幸保